

アスファルト混合物報告書

2024年2月29日

鳥取県県土整備部技術企画課長 様

製造会社  
 所在地 鳥取県米子市和田町2141  
 工場名 カネックス(株)

配合の設計条件				
混合物の種類	骨材の最大寸法	基準密度	混合温度	
密粒度ギャップ アスファルト混合物 (13)	13 mm	2.406 g/cm <sup>3</sup>	154 °C	
空隙率	飽和度	安定度	フロー値	
3.9 %	75.5 %	9.64 kN	29 1/100cm	
D S 値				
- 回/mm				
使用材料及び配合表				
使用材料名	産地名	生産者名	配合率	備考
ストアス60-80	岡山県倉敷市水島	伊藤忠エネクス(株)	5.20 %	
改質アスファルト (I型)	-	-	- %	
改質アスファルト (II型)	-	-	- %	
石 粉	岡山県新見市足立	足立石灰工業(株)	7.0 %	
碎石	5号	山口県周南市大字金峰	(株)鹿野興産	0.0 %
	6号	山口県山口市宮野上入野東	石田碎石(株)	56.0 %
	7号	岡山県真庭市神代	(株)マルケイ	6.0 %
砂	粗目	島根県仁多郡奥出雲町	(株)サンテック	6.0 %
	細目	鳥取県東伯郡北栄町東園	(有)永田商事	25.0 %
	目	-	-	- %
スクリーニングス	-	-	- %	
再生骨材	mm	-	- %	
	mm	-	- %	
添加剤 ( ) 配合率 %	-	-	- %	

# アスファルト混合物配合設計報告書

試験年月日 2024年 2月

混合物の種類 密粒度ギャップアスファルト混合物(13)

試験者 越川康弘

## 1. 使用材料の種類及び産地

材料の種類	製造会社名	産地	材質
6号砕石	石田採石(株)	山口県山口市宮野上入野東	硬質砂岩
7号砕石	(株)マルケイ	岡山県真庭市神代	硬質砂岩
粗砂	(株)サンテック	島根県仁多郡奥出雲町下阿井	加工砂
細砂	(有)永田商事	鳥取県東伯郡北栄町東園	天然砂
石灰石粉	足立石灰工業(株)	岡山県新見市足立	石灰石
ストレートアスファルト60-80	伊藤忠エネクス株式会社	岡山県倉敷市水島	アスファルト

## 2. 配合割合

材料	6号砕石	7号砕石	粗砂	細砂	石灰石粉					計
配合割合%	56.0	6.0	6.0	25.0	7.0					100.0

## 3. 合成粒度

ふるい目	53mm	37.5	31.5	26.5	19	13.2	9.5	4.75	2.36	1.18	600μm	300	150	75
通過質量百分率%					100.0	99.0		49.9	37.9		28.8	17.1	8.1	6.3
目標粒度					100	95~100		35~55	30~45		20~40	15~30	5~15	4~10

## 4. 室内配合アスファルト量

アスファルト量 (%)	密度 (g/cm <sup>3</sup> )	空隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度 (kN)	フロー値 (1/100cm)	理論密度 (g/cm <sup>3</sup> )	突固め回数 (回)
5.2	2.406	3.9	75.5	9.64	29	2.504	50
4.5~6.5		3~7	65~85	4.90以上	20~40		

# 骨材試験成績表

目的 配合設計

試験年月日 2024年 2月

混合物の種類 密粒度ギャップアスファルト混合物(13)

試験者 越川康弘

試験項目		6号碎石	7号碎石	粗砂	細砂	石灰石粉			
密度	表乾	2.725	2.675	2.585	2.550	—			
	かさ	2.709	2.661	2.553	2.480	—			
	見掛	2.754	2.697	2.637	2.650	2.700			
吸水率 / 水分量 %		0.60	0.49	1.25	2.64	0.01			
すりへり減量 %		11.2	18.8	—	—	—			
安定性 %		3.6	1.3	1.9	—	—			
微粒分量試験 %		0.9	0.9	1.7	—	—			
軟石含有量 %		3.3	0.0	—	—	—			
扁平細長石片 %		7.2	—	—	—	—			
単位容積質量		—	—	—	1.560	—			
粘土塊量 %		0.05	0.11	0.14	—	—			

ふるい目の開き		6号碎石	7号碎石	粗砂	細砂	石灰石粉			
通過質量百分率 %	53 mm								
	37.5								
	31.5								
	26.5								
	19	100.0							
	13.2	98.2	100.0	100.0					
	9.5								
	4.75	12.0	87.1	99.4					
	2.36		6.1	91.5	100.0				
	1.18								
	600 μm			42.0	77.0				
	300			21.6	35.0	100.0			
	150			7.4	3.0	98.0			
75			1.4		88.2				



# 骨材の粒径加積曲線図

目的配合設計  
 混合物の種類 密粒度ギャップアスファルト混合物(13)

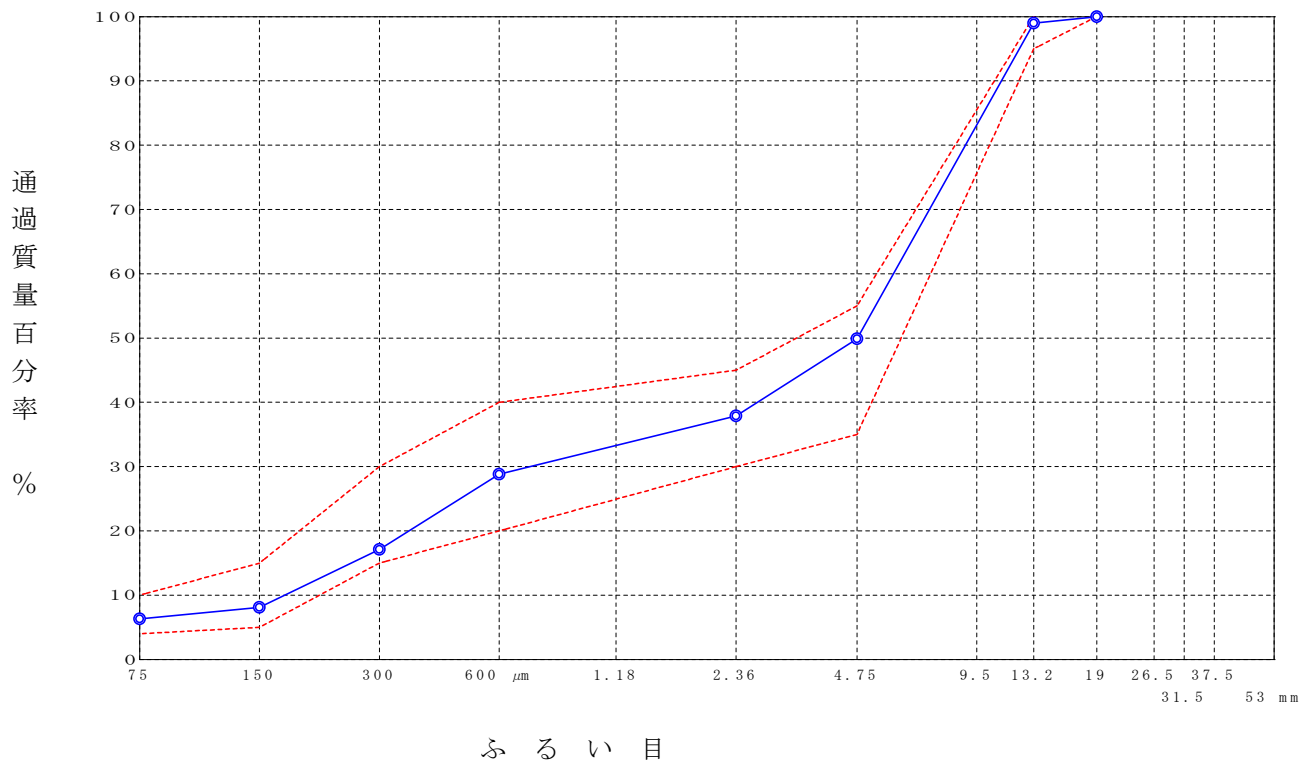
試験年月日 2024年 2月  
 試験者 越川康張

## 5. 合成粒度

ふるい目	合成粒度		粒度範囲
	作図法	修正後	
53 mm			
37.5			
31.5			
26.5			
19	100.0	100.0	100
13.2	99.0	99.0	95 ~ 100
9.5			
4.75	50.9	49.9	35 ~ 55
2.36	37.2	37.9	30 ~ 45
1.18			
600 μm	27.3	28.8	20 ~ 40
300	17.4	17.1	15 ~ 30
150	9.6	8.1	5 ~ 15
75	7.6	6.3	4 ~ 10

## 6. 粒径加積曲線図

----- 粒度範囲  
 ———— 修正後



# 混合物の理論最大密度計算表

目的配合設計

試験年月日 2024年 2月

混合物の種類 密粒度ギャップアスファルト混合物(13)

試験者 越川康張



① 骨材の種類	② 配合率(%)	③ 計算に用いる密度	④ ② / ③
6号砕石	56.0	2.754	20.334
7号砕石	6.0	2.697	2.225
粗砂	6.0	2.637	2.275
細砂	25.0	2.650	9.434
石灰石粉	7.0	2.700	2.593
Σ②=	100.0	Σ④=	36.861

⑤ アスファルト量 (%)	⑥ アスファルトの 密度	⑦ ⑤ / ⑥	⑧ $\frac{\Sigma④(100 - ⑤)}{100}$	⑨ ⑦ + ⑧	⑩ 理論最大密度 100 / ⑨
4.0	1.042	3.839	35.387	39.226	2.549
4.5		4.319	35.202	39.521	2.530
5.0		4.798	35.018	39.816	2.512
5.5		5.278	34.834	40.112	2.493
6.0		5.758	34.649	40.407	2.475
OAC 5.2		4.990	34.944	39.934	2.504

# マーシャル安定度試験

目的 配合設計

試験年月日 2024年 2月

混合物の種類 密粒度ギャップアスファルト混合物(13)

試験者 越川康弘

アスファルトの種類 ストレートアスファルト60-80      アスファルトの密度(A) 1.042      アスファルトの温度 154 °C

骨材の温度 185 °C      突固め温度 142±2 °C      突固め回数 50 回

試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑦ ⑧		⑨	⑩	⑪	⑫	⑬ ⑭		⑮	⑯
		アスファルト量 (%)	供試体平均厚 (cm)	空中質量 (g)	水中質量 (g)	表乾質量 (g)	容積 (cc)	かさ	理論	ア容スファルト積 (%)	空隙率 (%)	骨材間隙率 (%)	飽和度 (%)	力計の読み	安定度 (kN)	フロー値 (1/100 cm)
							⑤-④	③/⑥	①×⑦(A)		⑨+⑩	⑫/⑩×100				
標準	1	4.0	1197.0	699.7	1199.5	499.8	2.395							8.90	26	
	2		1196.6	696.0	1198.6	502.6	2.381							9.23	26	
	3		1193.3	695.9	1195.2	499.3	2.390							8.81	24	
	平均							2.389	2.549	9.2	6.3	15.5	59.4		8.98	25
標準	4	4.5	1197.5	698.4	1199.2	500.8	2.391							9.20	28	
	5		1199.6	703.2	1200.7	497.5	2.411							9.28	25	
	6		1199.0	700.5	1200.7	500.2	2.397							9.27	25	
	平均							2.400	2.530	10.4	5.1	15.5	67.1		9.25	26
標準	7	5.0	1200.9	703.9	1203.0	499.1	2.406							9.42	30	
	8		1200.5	702.7	1201.2	498.5	2.408							9.57	26	
	9		1198.3	702.2	1200.5	498.3	2.405							9.45	28	
	平均							2.406	2.512	11.5	4.2	15.7	73.2		9.48	28
標準	10	5.5	1200.2	704.0	1202.2	498.2	2.409							9.52	30	
	11		1202.3	704.2	1203.5	499.3	2.408							9.79	30	
	12		1200.2	701.9	1201.6	499.7	2.402							9.63	29	
	平均							2.406	2.493	12.7	3.5	16.2	78.4		9.65	30
標準	13	6.0	1204.3	705.8	1206.1	500.3	2.407							9.51	34	
	14		1206.9	705.6	1208.1	502.5	2.402							9.46	34	
	15		1205.8	702.6	1207.3	504.7	2.389							9.62	31	
	平均							2.399	2.475	13.8	3.1	16.9	81.7		9.53	33

$$\textcircled{10} = (1 - \textcircled{7} / \textcircled{8}) \times 100$$

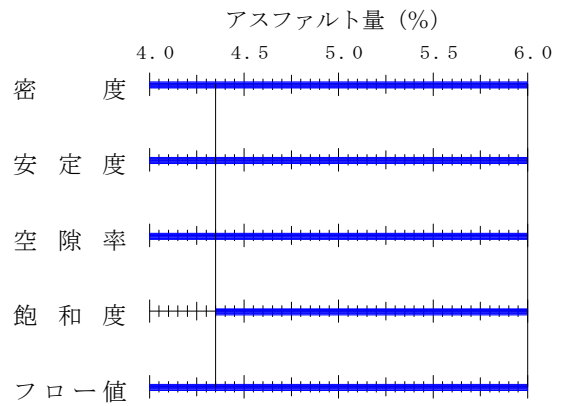
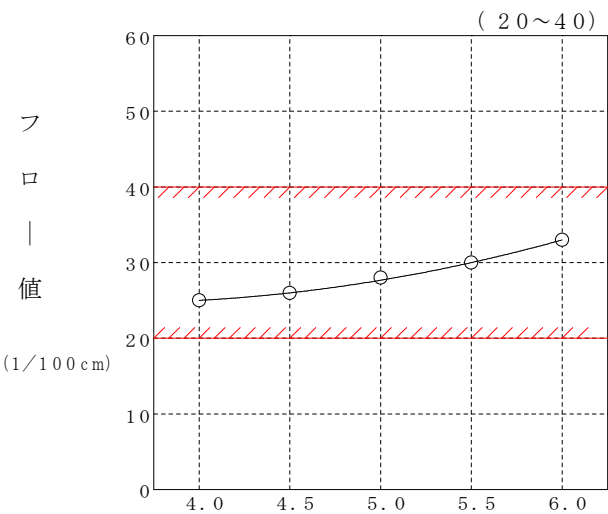
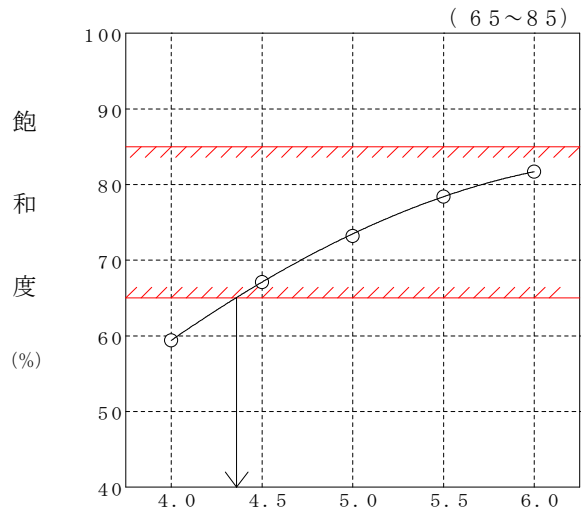
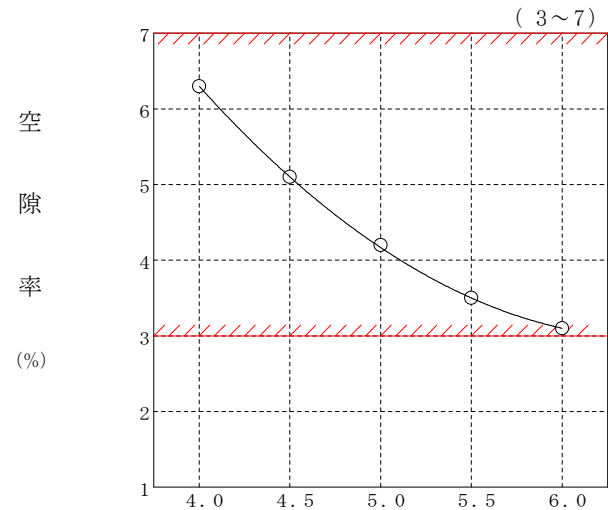
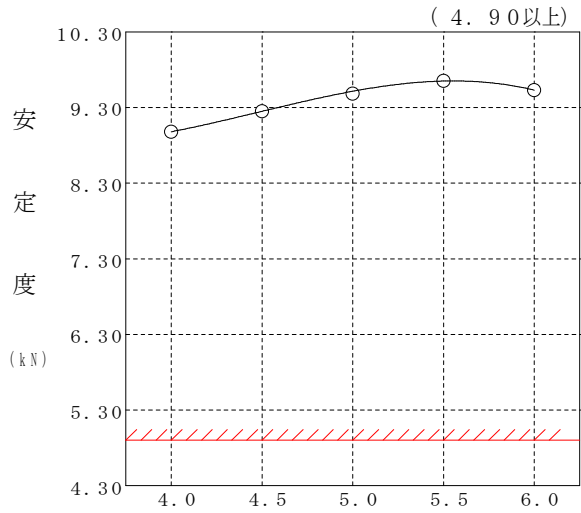
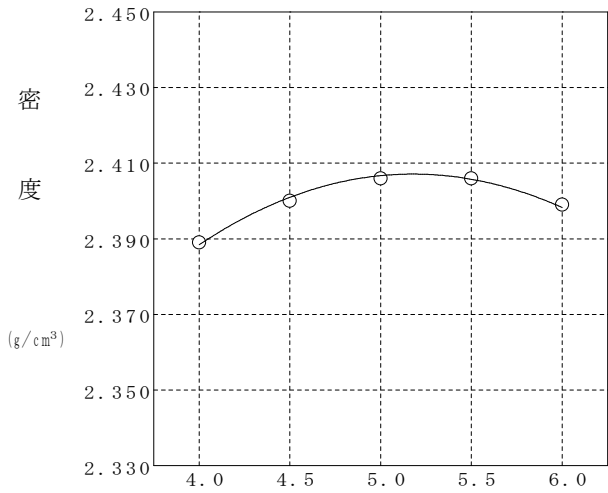
# マーシャル安定度試験

目的 配合設計

試験年月日 2024年 2月

混合物の種類 密粒度ギャップアスファルト混合物(13)

試験者 越川康弘



共通範囲 4.35 ~ 6.00 (%)

設計アスファルト量 5.2 (%)

アスファルト量 (%)



# 水浸マーシャル安定度試験

目的 配合設計

試験年月日 2024年 2月

混合物の種類 密粒度ギャップアスファルト混合物(13)

試験者 越川康弘

アスファルトの種類 ストレートアスファルト60-80

アスファルトの密度 (A) 1.042

アスファルトの温度 154℃

骨材の温度 185℃

突固め温度 142±2℃

突固め回数 50回

試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
		アスファルト量 (%)	供試体平均厚 (cm)	空中質量 (g)	水中質量 (g)	表乾質量 (g)	容積 (cc)	密度 (g/cm³)	かさ論 (g/cm³)	ア容スファルト積 (%)	空隙率 (%)	骨材間隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度 (kN)	安定度 (kN)	フロー値 (1/100 cm)	残留安定度 (%)
							⑤-④	③/⑥		①×⑦ (A)		⑨+⑩	⑨/⑩×100				
標準	1			1199.7	704.0	1201.6	497.6	2.411							9.84	28	
	2	5.2		1200.5	704.0	1202.5	498.5	2.408							9.39	31	
	3			1200.8	701.2	1201.7	500.5	2.399							9.68	29	
	平均								2.406	2.504	12.0	3.9	15.9	75.5	9.64	29	
水浸	1			1201.8	703.5	1203.8	500.3	2.402							8.72	34	
	2	5.2		1198.1	703.9	1200.0	496.1	2.415							8.42	33	
	3			1200.2	701.8	1201.3	499.5	2.403							8.88	35	
	平均								2.407	2.504	12.0	3.9	15.9	75.5	8.67	34	89.9
	平均																

$$\textcircled{10} = (1 - \textcircled{7}/\textcircled{8}) \times 100$$

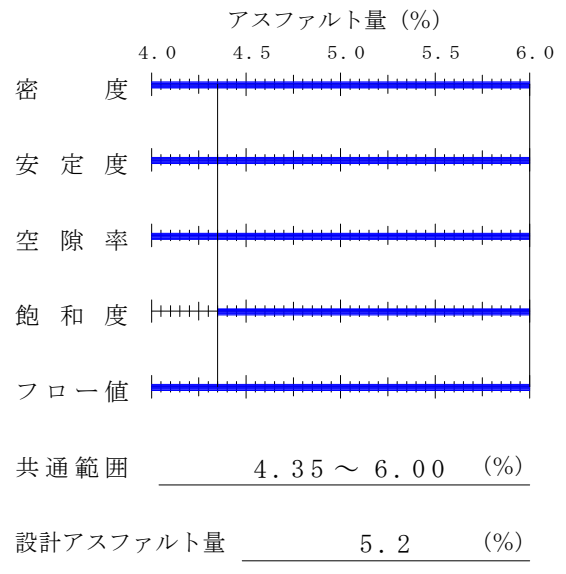
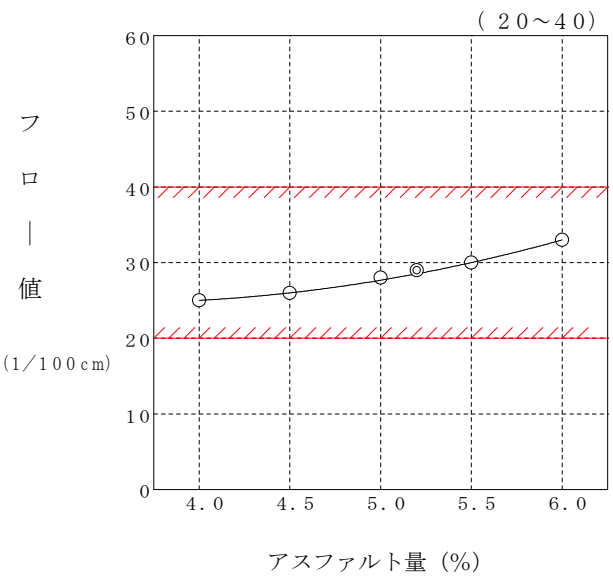
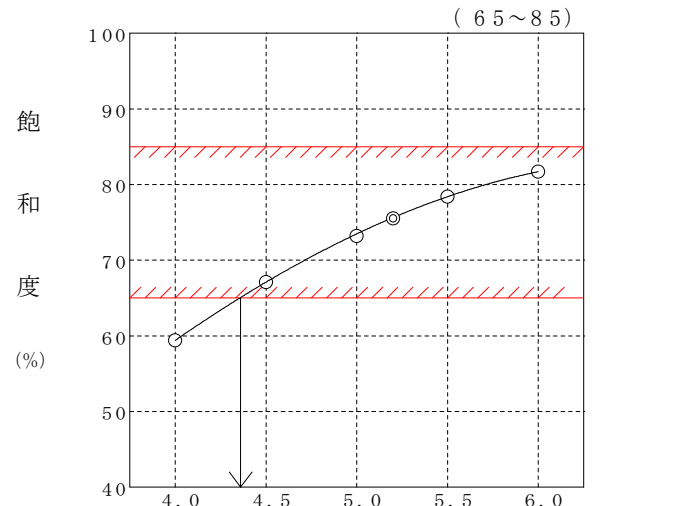
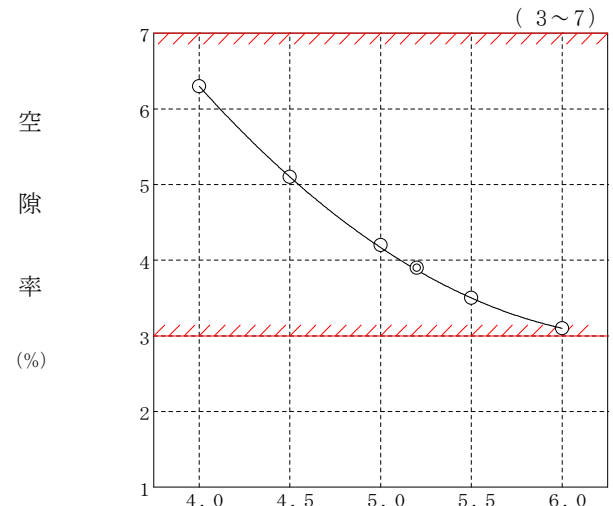
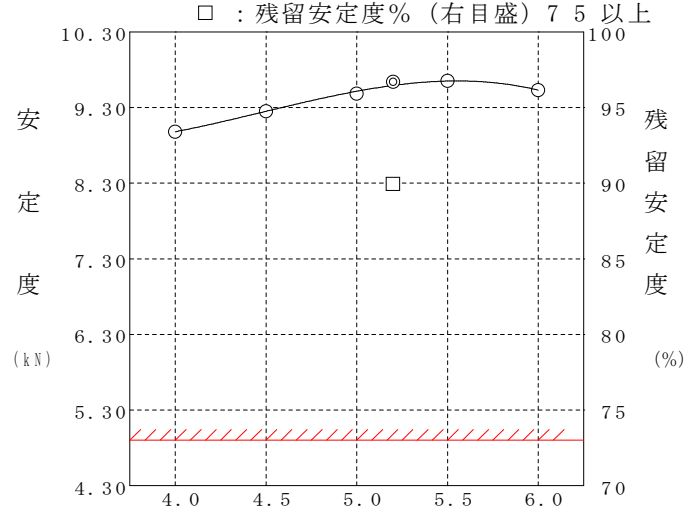
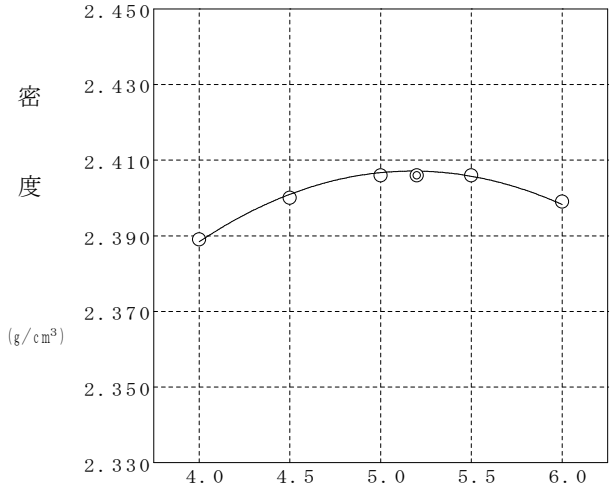
# 水浸マーシャル安定度試験

目的 配合設計

試験年月日 2024年 2月

混合物の種類 密粒度ギャップアスファルト混合物(13)

試験者 越川康弘





# 骨材の粒径加積曲線図

目的配合設計  
 混合物の種類 密粒度ギャップアスファルト混合物(13)

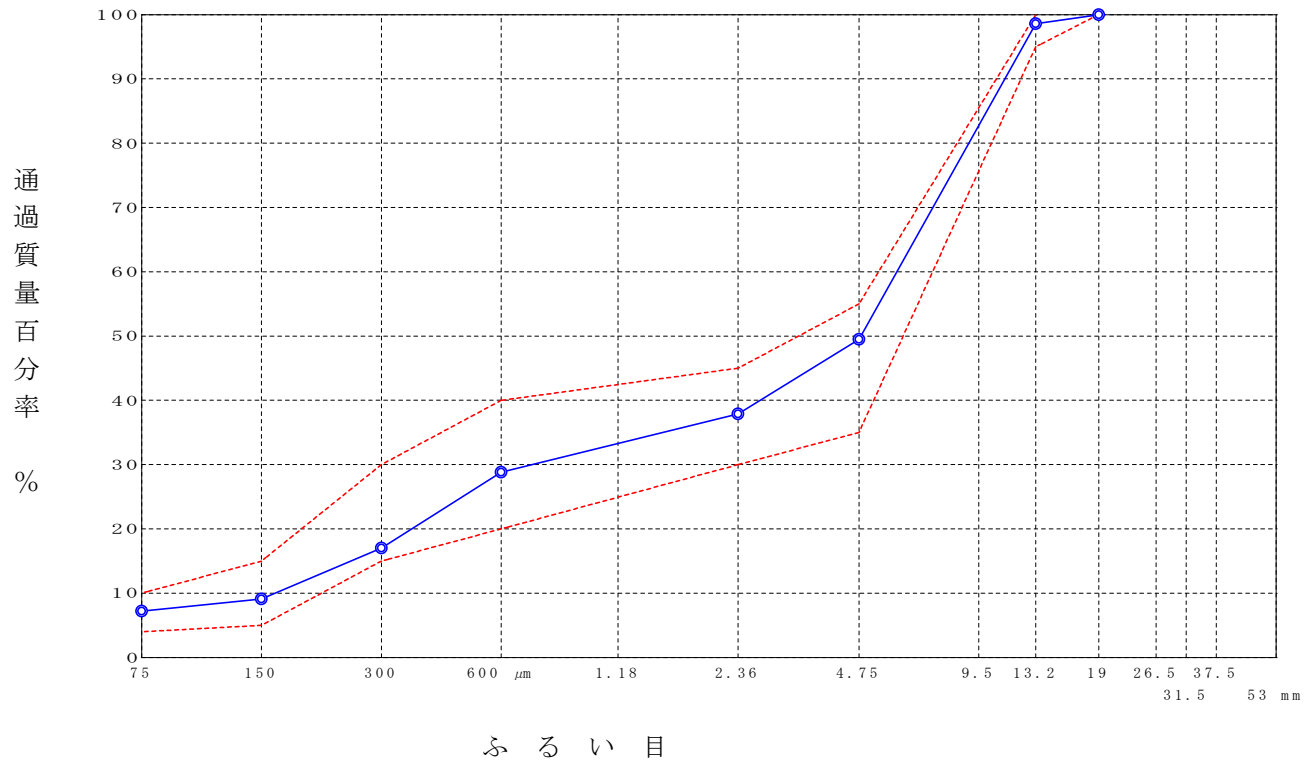
試験年月日 2024年 2月  
 試験者 越川康弘

## 5. 合成粒度

ふるい目	合成粒度		粒度範囲
	作図法	修正後	
53 mm			
37.5			
31.5			
26.5			
19	100.0	100.0	100
13.2	98.8	98.6	95 ~ 100
9.5			
4.75	53.9	49.5	35 ~ 55
2.36	37.5	37.9	30 ~ 45
1.18			
600 μm	28.4	28.8	20 ~ 40
300	16.9	17.0	15 ~ 30
150	9.1	9.1	5 ~ 15
75	7.1	7.2	4 ~ 10

## 6. 粒径加積曲線図

----- 粒度範囲  
 ———— 修正後



# マーシャル安定度試験

目的 配合設計

試験年月日 2024年 2月

混合物の種類 密粒度ギャップアスファルト混合物(13)

試験者 越川康弘

アスファルトの種類 ストレートアスファルト60-80      アスファルトの密度(A) 1.042      アスファルトの温度 154 °C

骨材の温度 185 °C      突固め温度 142±2 °C      突固め回数 50 回

試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦ ⑧		⑨	⑩	⑪	⑫	⑬ ⑭		⑮	⑯
		アスファルト量 (%)	供試体平均厚 (cm)	空中質量 (g)	水中質量 (g)	表乾質量 (g)	容積 (cc)	かさ (g/cm³)	理論 (g/cm³)	アスファルト積 (%)	空隙率 (%)	骨材間隙率 (%)	飽和度 (%)	力計の読み	安定度 (kN)	フロー値 (1/100 cm)	備考
							⑤-④	③/⑥		①×⑦ (A)		⑨+⑩	⑫/⑬×100				
標準	1			1201.9	702.0	1203.8	501.8	2.395							9.42	27	
	2	5.2		1198.9	704.6	1201.0	496.4	2.415							9.81	29	
	3			1199.1	701.9	1199.9	498.0	2.408							9.70	30	
	平均									2.406	2.504	12.0	3.9	15.9	75.5	9.64	29
	平均																
	平均																
	平均																

⑩ = (1 - ⑦/⑧) × 100

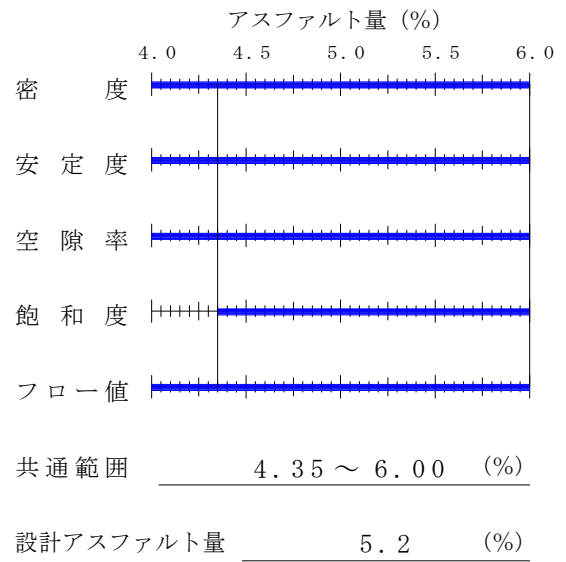
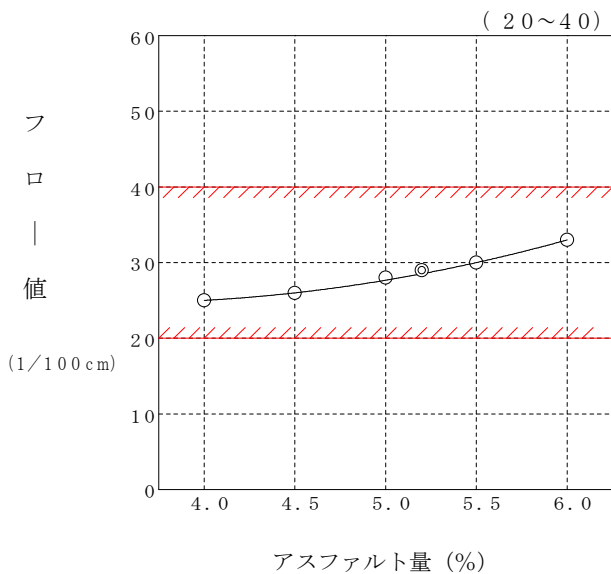
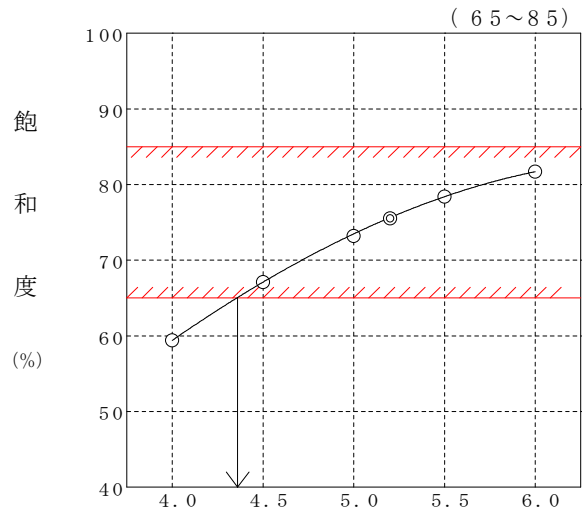
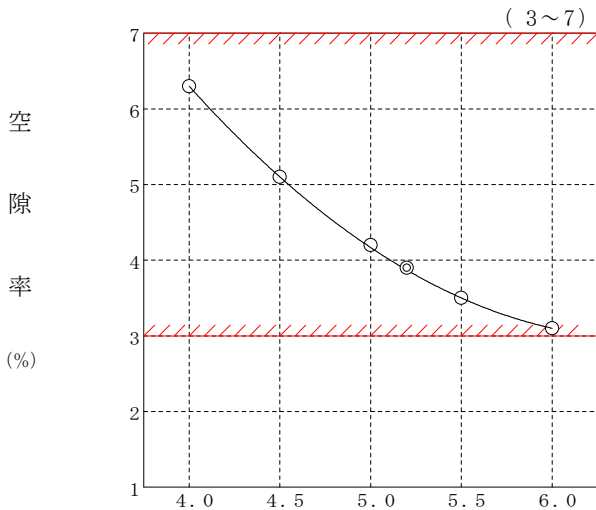
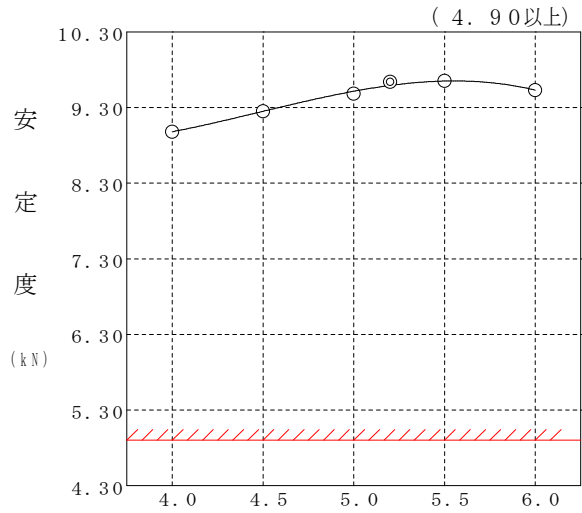
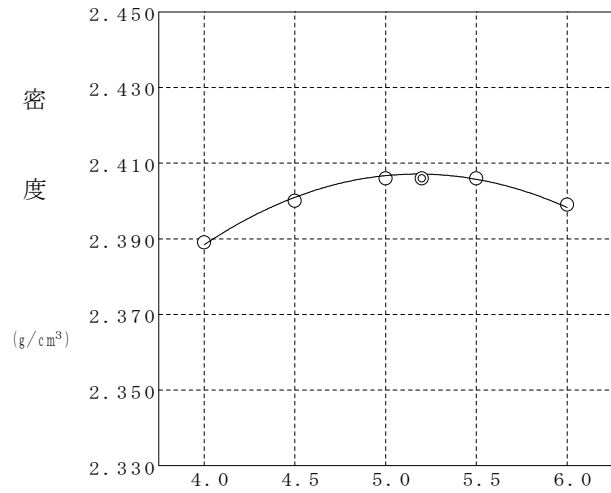
# マーシャル安定度試験

目的 配合設計

試験年月日 2024年 2月

混合物の種類 密粒度ギャップアスファルト混合物(13)

試験者 越川康弘



# 現場配合の決定

目的配合設計

試験年月日 2024年 2月

混合物の種類 密粒度ギャップアスファルト混合物(13)

試験者 越川康弘

1バッチ 2000 kg

	骨材配合比(%)	設計アスファルト量(%)	プラント配合比(%)	1バッチ質量(kg)	骨材累加質量(kg)
3 ビ ン	50.0		47.4	948	1754
2 ビ ン	12.0		11.4	228	806
1 ビ ン	30.5		28.9	578	578
回 収 ダ ス ト	0.5		0.5	10.0	10.0
石 粉	7.0		6.6	132.0	142.0
ア ス フ ェ ル ト		5.2	5.2	104.0	104.0
合 計	100.0		100.0	2000.0	2000.0